

高齢者・有病者歯科学特論 ・実習

《キーワード》 全身的偶発症リスク、歯科訪問診療、高齢有病者に対する再生医療

《担当者名》 飯田 貴俊

【概要】

わが国の高齢者の通院者率は約7割となっていることから、高齢者の全身的偶発症リスクを十分に理解した上で高齢者に対する歯科治療を行う必要がある。本科目の目標は、高齢者の全身的偶発症リスクについての知識を身につけ、歯科外来だけでなく施設や居宅においても安全な歯科診療を実践するための基礎的な素養を習得することである。さらに、器質的な欠損を伴うことが多い高齢者に対する再生医療のストラテジーについても学習する。

【学修目標】

1. 高齢者の全身的偶発症リスクについて説明できる。
2. 歯科訪問診療について説明できる。
3. 高齢有病者に対する再生医療について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	高齢者の全身的偶発症リスク	1) 高齢者に多い全身疾患 2) 歯科医療における安全管理	飯田 貴俊
2	歯科訪問診療	1) 多職種連携 2) 口腔健康管理 3) 歯科訪問診療における安全管理	飯田 貴俊
3	高齢有病者に対する再生医療	1) 生体のエイジング 2) 生体材料のバイオリジカルエイジング 3) 光機能化技術	飯田 貴俊

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

口頭試問又は筆記試験

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【備考】

外来ならびに院外においての実習を含む。

【学修の準備】

提示した到達目標に合わせて、関連資料の収集・文献講読をしておくこと。